

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	ご利用者様やご家族様からお話し頂いたこと(生活歴・生活観・趣味・馴染み)などの情報やケアの中から感じ見いだせることを参考に生活活動やアクティビティ、ケアに活かすように努めているが、現在のアセスメント用紙では表記不足であり様式の工夫が必要である。	アセスメント様式の見直しを行うことで、職員間の共有内容を拡大し、ご利用者様のニーズを捉え直し、生活「その人らしさ」を大切にし、より良い支援に繋げることができる。	今まで情報(生活歴・生活観・趣味・馴染み)と職員が個々に持つ日常の情報、新たな情報収集などを行いより良い支援に反映できるようアセスメント様式の変更を行う。	6ヶ月
2	4・6	施設の直ぐ側に交通量の多い道路が出来(ご家族・地域の方の不安)があり玄関の施錠管理をせざる負えない状況であるが、外出活動を増やしたり、ニーズに合わせ都度、職員が付き添いいつでも外に出られるよう対策を行っている。又、外からは自由に開くようになっているが、解放時間の対策が必要である。	ご利用者様の安全を確保しながら、ご家族様や地域の方々のご理解ご協力を頂きながら、施錠解放管理を行っていくことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議を活かしご家族様や地域の方々にご協力とご理解を頂けるように努める。 解放時のご利用者様の安全確保が必要であり見守り人員対策の為、業務の見直しを行い次第に自由解放時間を増やすようにする。 	12ヶ月
3	35・6	年2回の防災訓練を行っている。今回、消防訓練を消防署立会で実施しているが、夜間は夜勤者のみになるので実際時は高齢者施設での避難は時間がかかる為、地域住民の方や地域消防団の方の協力が大切になる。	地域住民の方々や地域消防団の方々のご理解とご協力を得ることができ、連携体制を築くことができる。	<ul style="list-style-type: none"> 運営推進会議を活かし地域の方々や地域消防団の方々のご理解とご協力を得れるように努める。又、訓練への参加協力を頂くよう努める。 	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。